

家庭数
保護者様

令和7年10月吉日

青梅市立若草小学校
校長 松井 優子

令和8年度の学級編成について

日頃より、本校の教育にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、新年度の学級編成の在り方について本校で話し合った結果、これまで隔年ごと実施していた学級編成を、毎年、全学年・全学級を実施する（毎年、全学年でクラス替えを行う）方針に変更することを考えております。令和8年度は移行期間としまして、新1年から新5年は学級編成を行い、新6年は学級編成をせず、そのまま持ち上がるものとします。令和9年度からは、全学年で実施をします。

学級編成を毎年行う理由としましては、

1 「新しい気持ちで頑張ろう」と気持ちを切り替える機会とする

新しい環境になることで心機一転し、意欲をもって新学年に臨むことができます。前向きな気持ちは、目標に向かう力や課題を乗り越える力の原動力となります。

2 新しい集団の中での人間関係を構築していく力を身に付ける

友達関係も新しくなることで、これまでの関係性が見直される機会となります。そして、「新しい自分のよさ」に気付いたり、引き出したりしてもらえることも期待できます。

3 学年の意識が高まる

学級を越えて、学年の意識が高まることも期待できます。多くの友達と関わることで、所属感や一体感が高まることや「居場所ができる」「友達が増える」といった社会性の伸長も期待できます。中学校へ進学以降も、学年全体に関係が広がっていることで、支え合う関係が生まれやすくなります。

4 変化の激しい時代に対応していく

これからさらに、今までと異なる状況に柔軟に対応し、その中で主体的に活動する力が求められています。今から変化に慣れていくことが必要です。

5 学校運営面からの利点

1年ごとの学級編成は、児童の成長に合わせ、学級ごとの偏り（学力、体力、人間関係等）を毎年見直すことができる、教職員の異動やクラスの様子に対応して、適材適所の教職員配置を行いやすい等の利点が多くあります。

このようなことから、「全学年・全学級での学級編成」を実施させていただきます。ただ、新しい環境に慣れるのに時間がかかり、新年度を不安に感じる児童もいます。今後は、さらに情報共有や組織的な対応などを徹底し、一人一人の心に寄り添い支えて参ります。なお、毎年の学級編成となりますので、保護者の方からの学級編成に対するご要望にお応えできないこともあります。どうぞご承知おきください。

どうぞ趣旨をご理解いただき、ご協力の程、よろしく願いいたします。